

令和3年度 学校評価表

宮崎県立宮崎農業高等学校

部	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
学校全体	1 生徒一人一人の可能性を高める教育の推進	C	B	<p>○学校全体で学校経営目標の達成に向けて前進している。</p> <p>○コロナ禍をチャンスと捉え、本来必要な学校行事や教育方法を再構築して欲しい。</p> <p>○市の産官学連携事業等へ積極的に参加してもらっている。これからも地域での幅広い学習活動を展開して欲しい。</p>
	2 豊かな人間性や愛校心を育む教育の推進	C		
	3 地域の期待に応える教育の推進	B		
	4 働き方改革と教育内容の充実を図る教育の推進	C		
	5 教育環境の充実と安全教育の推進	C		
教務部	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の実践	B	B	<p>○ICTを活用した学びの実践はたいへんよい。これからもより充実した取組を進めて欲しい。</p>
	2 授業等におけるICT機器の活用と検証	B		
	3 観点別評価の導入に向けた研修等の実施	B		
広報情報部	1 現状分析に基づく戦略的・効果的な広報活動	B	B	<p>○生徒の学習成果を可視化した校門横の横断幕がよい。</p> <p>○学校PR動画がよくできており、再生回数も1万回を超えている。</p>
	2 校務支援システムや情報機器の活用支援	B		
生徒指導部	1 基本的な生活習慣の確立	B	B	<p>○先生方の熱心な指導により成果が上がっていると思われる。</p> <p>○いじめによる生徒指導事案もないようなので、引き続きしっかり取り組んで欲しい。</p>
	2 規範意識の高揚	B		
	3 生徒会活動や部活動の活性化	C		
進路指導部	1 生徒の多様なニーズに対応した進路実現	A	A	<p>○6割以上の生徒が進学、うち8名が国公立大学合格、22名が4年制大学に進学している。</p> <p>○各学科の教育内容に沿った就職は素晴らしい。</p>
	2 進路情報の共有化・データベース化	B		
	3 「突破する力」の育成	A		

【自己評価】 A：目標を十分に達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標を達成できなかった

【学校関係者評価】 A：たいへんよい B：ふつう C：努力が必要

部・科	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
農務部	1 新規導入施設・設備を有効に活用した農業教育の実践	B	B	○時代のニーズにマッチした設備導入が充実することはよい。 ○地域資源を活用した実践教育は高く評価できる。
	2 地域や関係機関との連携による人材育成	B		
生物工学科	1 主体的な行動と進路実現を図る生徒の育成	B	B	○地域と一体となって日本農業遺産認定に取り組み、その成果を全国大会で発表した取組はすばらしい。
	2 地域の期待に応える教育の推進	B		
	3 時代の変化や社会のニーズを踏まえた学科の特色化	C		
生産流通科	1 新学習指導要領に対応した指導方法の確立	C	B	○学科の教育成果を生かした農業生産や流通・販売分野での進学や就職をぜひ、増やして欲しい。
	2 専門教育の成果を生かした進路指導	C		
	3 地域に根ざした特色ある学科づくり	B		
食品工学科	1 専門教育の成果を生かした進路指導	B	B	○日頃からの衛生管理の徹底で、苦情なし・事故ゼロはすばらしい。
	2 社会で通用する生活習慣やマナーの習得	B		
	3 HACCPの手法を取り入れた食品衛生管理技術の習得	A		
環境工学科	1 農業土木技術者の育成	B	B	○資格取得によく取り組んでいる。ぜひ、将来の夢の実現につなげて欲しい。
	2 基礎学力の向上	B		
	3 特色ある学科づくり	B		
生活文化科	1 家庭に関する専門的知識・技術を持った生徒の育成	B	B	○地域貢献活動によく参加している。
	2 課題解決能力のある生徒の育成	B		
	3 社会が求める実践力のある生徒の育成	B		

【自己評価】 A：目標を十分に達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標を達成できなかった

【学校関係者評価】 A：たいへんよい B：ふつう C：努力が必要